

第2号議案

令和4年度 研修報告

CMED会ではこれまで1年に2回、施工中のダム現場において、CMED会会員の技術研鑽の場として、CMED受験候補者のダム技術学習の場として地区研修会を開催してきました。

昨年度の研修会は、約3年前から続く新型コロナウイルス感染症の影響により、3密を回避するため意見交換会及び懇親会の開催を省略するなどの感染対策を徹底し、安威川ダムにいて、屋外での現地見学会を主体として開催した。

令和4年度の研修会は全国的に行動制限が解除されたこともあり、鵜川ダム及び立野ダムの2ダムにおいて、意見交換会及び懇親会を含めた例年通りの研修会の開催を企画した。

鵜川ダムについては、再び新型コロナウイルスの感染状況が拡大と収束を繰り返してきたことから、開催1か月前に中止を判断した。

一方、立野ダムについては、発注者及び施工者のご理解とご協力を頂き、計画通り、11月17日（木曜日）に現場見学会、意見交換会及び懇親会を開催することができた。

1. 開催日および参加者数

開催場所 開催形式	開催日	ダム現場等 外勤者	本支店等 内勤者	常任 幹事	ダム 協会	合計
鵜川ダム	9月21日 (中止)	—	—	—	—	—
立野ダム	11月17日	11	6	9	1	27

2. 現場見学会および意見交換会

立野ダムの現場見学会では、面状工法が主流の昨今において、柱状工法で計画されている立野ダムの事業概要、工事概要、施工設備計画及び施工上の創意工夫について、岩川所長はじめ立野ダムJVの方々よりご説明頂いた後、施工中のダム現場の見学を行った。

ダムサイト見学時には、研修会参加者から多数の質問があり、その都度担当者から丁寧に説明を受けることができ、活発な意見交換を図ることができた。

現場見学後の意見交換会では、現在CMED会で活動している「ダム現場における問題点」、「CMED活躍推進」、「多目的ダムの建設更新」の3部会の内、発注者との意見交換会でも主要議題となっている「ダム現場における問題点」部会において検討している令和3年に改訂された「ダム工事積算の解説」のダム施工現場への影響について議論がなされた。

本改訂では働き方改革により、特にダム施工現場の運営への影響が大きくなることから、改訂による課題と対応策について、CMED会での検討内容を報告するとともに、CMED会員をはじめ実際にダム現場の施工や本支店での計画業務に携わっている参加者の皆さまから率直な意見を頂いた。



地区研修会（開催挨拶）



ダムサイト（上流右岸より）



ダムサイト（左岸右岸より）



現場見学状況（右岸ダム天端）

3. 総 括

令和4年度は新型コロナウイルスの感染が収束して、全国的に行動制限が解除されたこともあり、現場見学会と意見交換会を主体とする例年通りの地区研修会を開催することができた。

今年度の地区研修会の開催を通じて、地区研修会はCME D会会員の技術力研鑽と情報交換の場として重要な機会であることをあらためて認識することができた。次年度以降も、本年度の経験と反省点を踏まえて、地区研修会がCME D会会員にとってより有意義に機能するよう努力していきたい。

以上